

3類型	鋳工業品	通巻番号	4-25-020
地域資源名	富山の一般機械	認定日	平成26年2月3日
地域	富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、入善町	所管省庁	経済産業省

事業名：高燃焼・省エネ・複数品種のアルミ合金の同時供給を可能にした「ポット溶解システム」の製造・販売事業

会社名：北陸テクノ株式会社

所在地：富山県射水市青井谷1-8-3

連絡先：TEL：0766-57-1400

HP：<http://www.h-techno.com/>

FAX：0766-57-1401

事業概要(新たな活用の視点)

・同社は、「金属溶解」の分野において、集積された高い技術力を背景に、鋳造業界で初めてとなる溶湯アルミを搬送する器である「取鍋(ポット)」でアルミを溶解し、そのまま搬送できるポット溶解設備を開発した。

・従来は、「集中溶解炉→溶湯搬送取鍋(ポット)→手許炉」の3工程を経るが、本システムでは独自の排気構造と断熱材の開発によりポットで溶融することで、集中溶解炉を無くして、「ポット→手許炉」の2工程に集約し、自動搬送も可能にしている。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・集中溶解炉は、夜間や休日等の非稼働時の溶湯保持のエネルギーロスが大きく、また1度に1種類の金属しか溶解できない。一方、ポット溶解炉は同時に複数の金属を溶解できる点、密閉されたポットで溶解する為、溶解時のエネルギー消費量が少ない点に競争力がある。また、溶解炉の増床も容易に行える為、ラインの拡張に要する投資費用も抑制できる。

◆市場性

・自動車分野における国内部品メーカーは「集中炉」による大量生産を実現しているが、海外では系列化が希薄で、1つの部品メーカーで複数の部品を加工しており、多品種少量鋳造への対応が求められている。

◆販路

・国内外の展示会等を通じて販路開拓を行い、メインターゲットとなるアジア等の自動車部品メーカーに対しては同社の現地法人を通じ販売を行う。

地域における関係事業者等との連携

・富山県新世紀産業機構や中小企業基盤整備機構等と連携し、技術開発や市場調査を実施している。



【ポット溶解炉を用いた自動搬送生産システム】